



曲亭馬琴著  
 傾城傳  
 歌川國貞  
 上帙卷之

3019  
 3





あつらひ引  
 東おりの  
 志のそ  
 容残  
 歌傳  
 看板

松 牧

亭方引三

去のまきあくら  
 篠 芒 朱 良 井

ナカサカキイ



鐵壺眼  
 白蛇

おの  
 舞  
 おの  
 舞

鶴 窓

山盛阿剛

Red seal impression



上野の... 四巻



やくでとうあひんあつる  
月六八手虎右衛門速綱

耳塚  
君  
長  
おる  
鱈子釣乃  
立込  
足駄

このとく  
回  
屋久手が妻

阿井戸



深間郡領  
重門

砕合  
切のえん

志くゆゆ

えんは... の...

刃物三昧

閑  
閑

行抜の  
阿裡

ナハ... 四巻



朝あさ  
 のぼの  
 つか  
 合あひの筆ふで  
 文ふ

宋公明そうこうめい村女むらぬすめ君子くんし  
 春雨はるのあめの大葉おほのは子こ  
 あめあめ風かぜ  
 夜よ半なれ  
 花はなひ

宋公明村女君子  
 春雨の大葉子

極ごくくくんんててま  
 思おもひひややめめち  
 流ながるるぬぬ質しつとと馬うま田た高たか  
 扇あふ八はち波なみ々々  
 騰あ魚いそ



左ひだり身みハ  
 恋こひ細これ  
 右みぎ庫くらふ  
 ちびちびく  
 ちちろろぬぬ掉すそ乃の  
 志こころののびび三さん重じゆう  
 走書すまのの安宅やすたく子こ  
 弾語ひきごころの  
 義太吉ぎだきち

走書すまのの安宅やすたく子こ

弾語ひきごころの  
 義太吉ぎだきち

はれが又様垣越清太の日月を甲の太夫らより引られて  
 其のまのまの加古の郡の女にあらはれりしに  
 びゆをいひしに七人の女にあらはれりしに  
 まさきにて夜に日さすに十日もあつて  
 こゝろに事をもつて入つておぼしき  
 ともつてはつておぼしき  
 かの太夫らより引られて  
 四つ目もあつておぼしき  
 かの太夫らより引られて  
 四つ目もあつておぼしき  
 かの太夫らより引られて  
 四つ目もあつておぼしき  
 かの太夫らより引られて  
 四つ目もあつておぼしき





Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is dense and occupies the left portion of the page.

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is dense and occupies the right portion of the page.

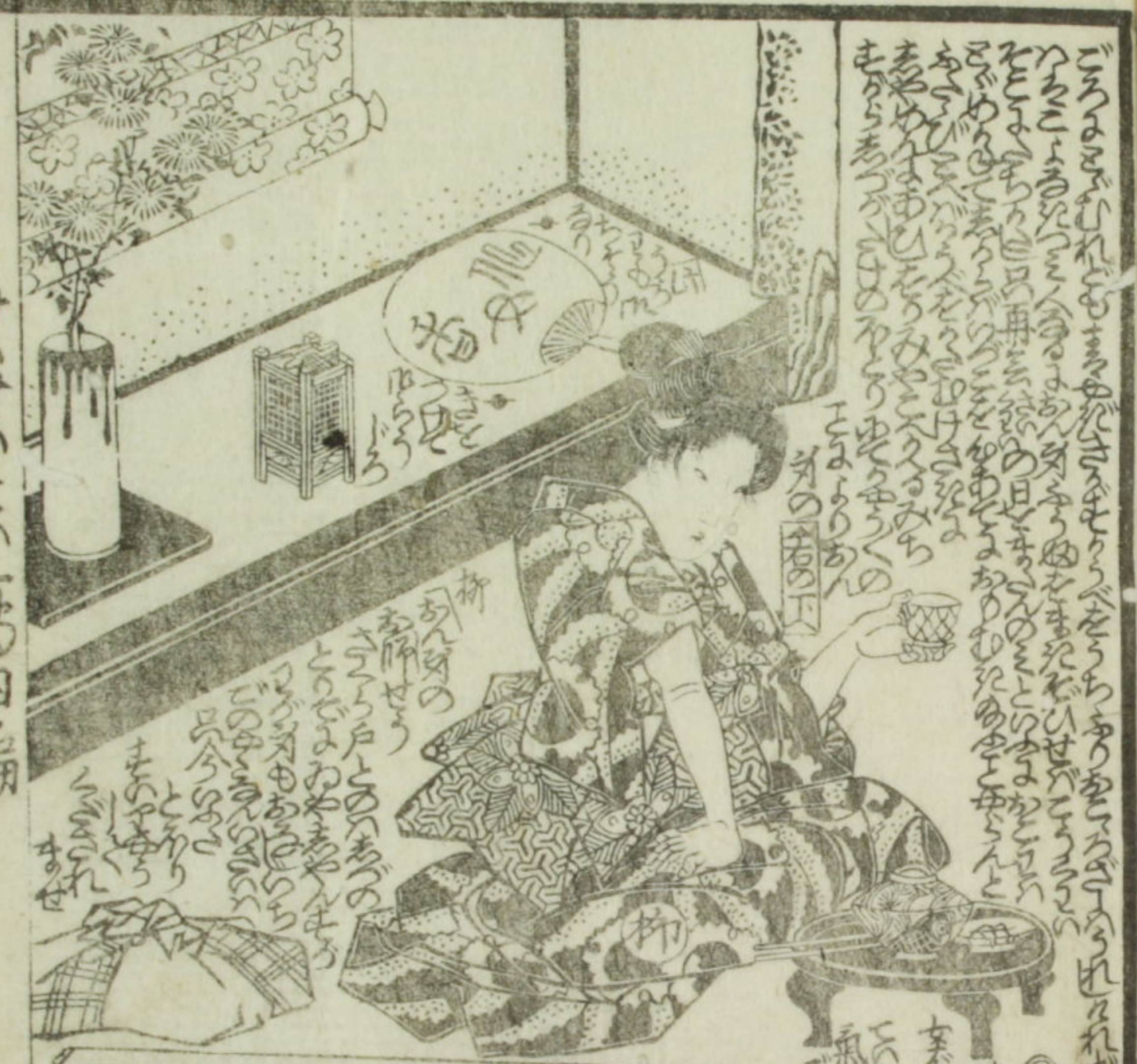
Handwritten text located on the left edge of the page, oriented vertically.

Handwritten text located on the right edge of the page, oriented vertically.





Vertical text on the right edge of the left page.



Vertical text on the left edge of the left page.

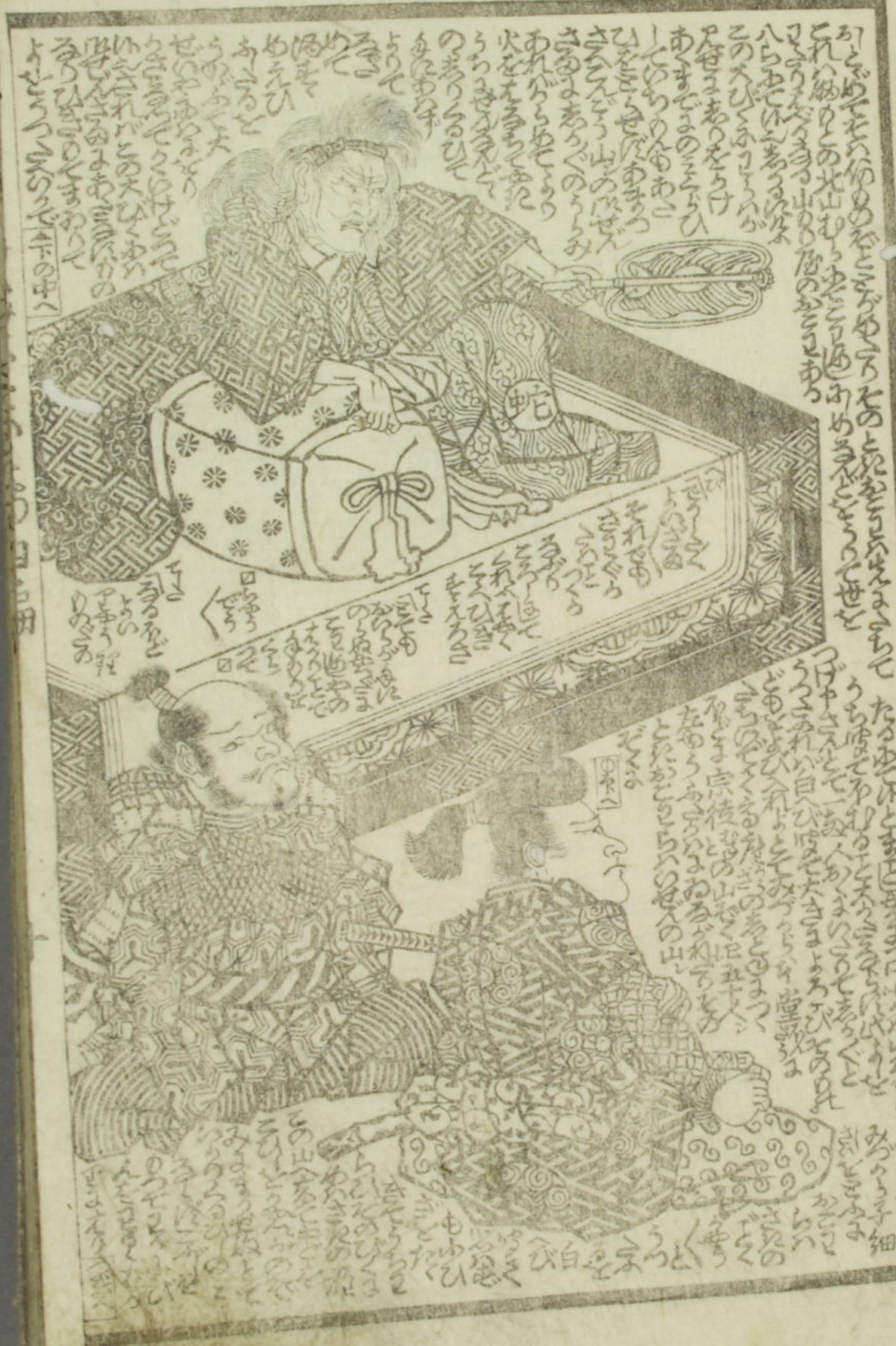
Main body of vertical Japanese text on the left page, positioned below the illustration.



Main body of vertical Japanese text on the right page, surrounding the illustration.

Small vertical text at the bottom right of the right page.





Vertical text on the right edge of the right page, likely a page number or a title.

まげらちきひけの... (Vertical text columns on the right page, including a large block of text at the top and smaller text around the illustration.)



傾城大雙六二編 狂奇入  
 江戸名物花見雙六 日本橋上り振袖  
 風流三升抄 澁川歌考新玉風  
 晴雨両天傘 大形代領七かみ下  
 黒油美玄香 半八柄 妙業  
 蘭傳靈應丹功録 包込  
 賣弘所 江戸室町三丁目 河内屋長兵衛  
 取次所 同 通浦町 鶴屋喜右衛門

はねまく... (Vertical text columns on the left page, including a large block of text at the top and smaller text around the illustration.)



曲亭馬琴著

傾城水滸

傳第四編

歌川國安画

上帙卷之下

傾城水滸傳第四編

馬琴作

穴居あなぐみよよくく雨あめをを知しはは

岡田引おかひき三さん勝かつ山やま村むらの旅りょ人じん帳ちやう

# けいせいのあそび物第四巻

國安画

我われらら崎さきとと渡わたるるああい

討うちちのの兵へいをを焼や敷しのの日ひ枝え山やま下した風かぜ



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustrations on the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the illustrations on the right page.





ナハチ...



ナハチ...







田舎のうへに...

十四

かたはつて...

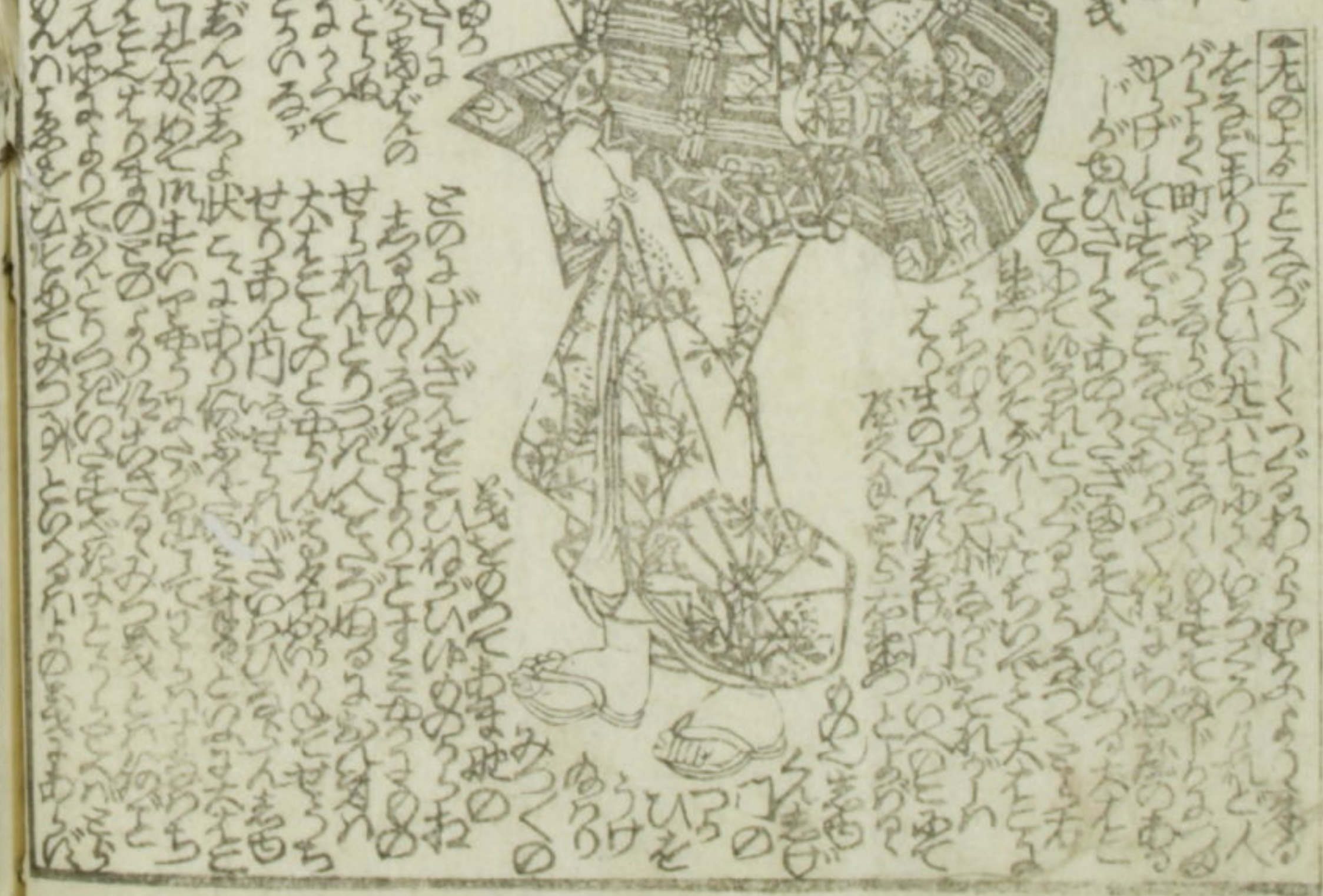
おのち...



何四八

上

天竺のついでに... 一頁の... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに...

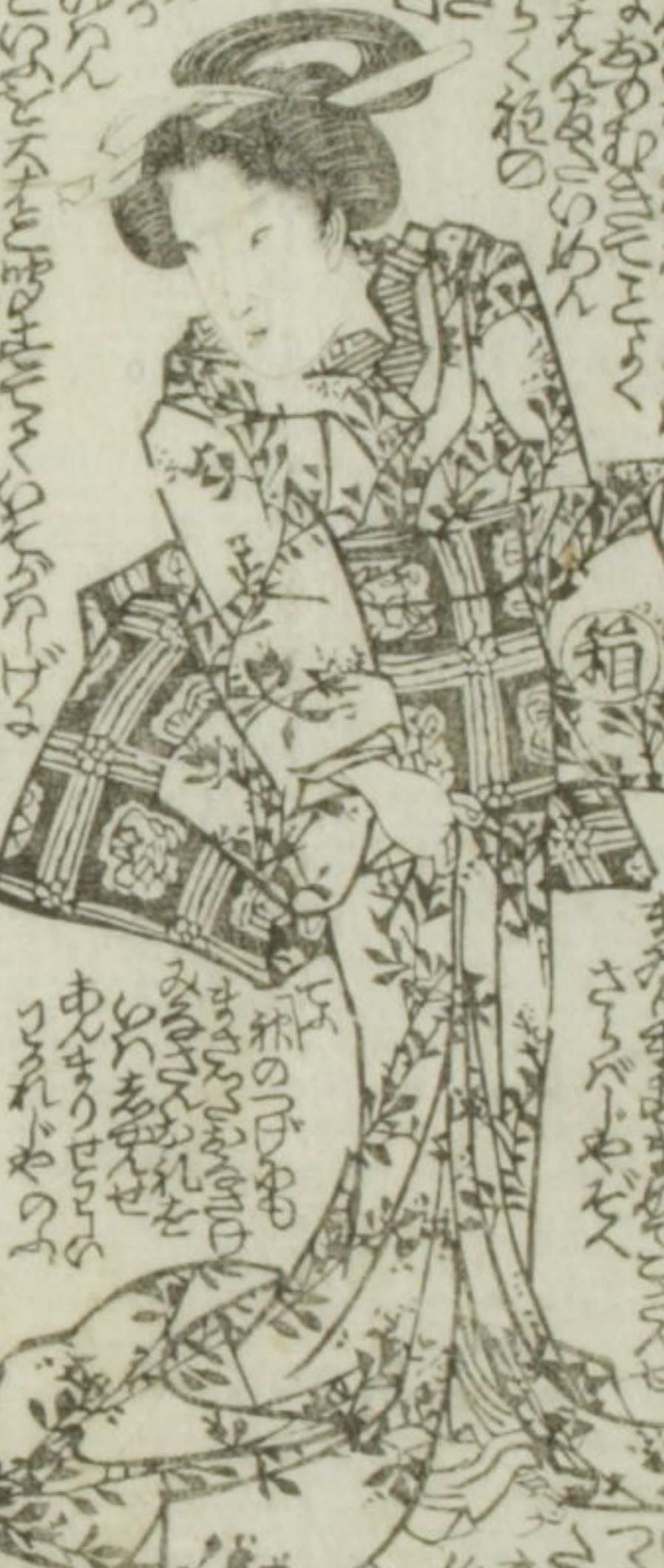


天竺のついでに... 一頁の... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに... 天竺のついでに...



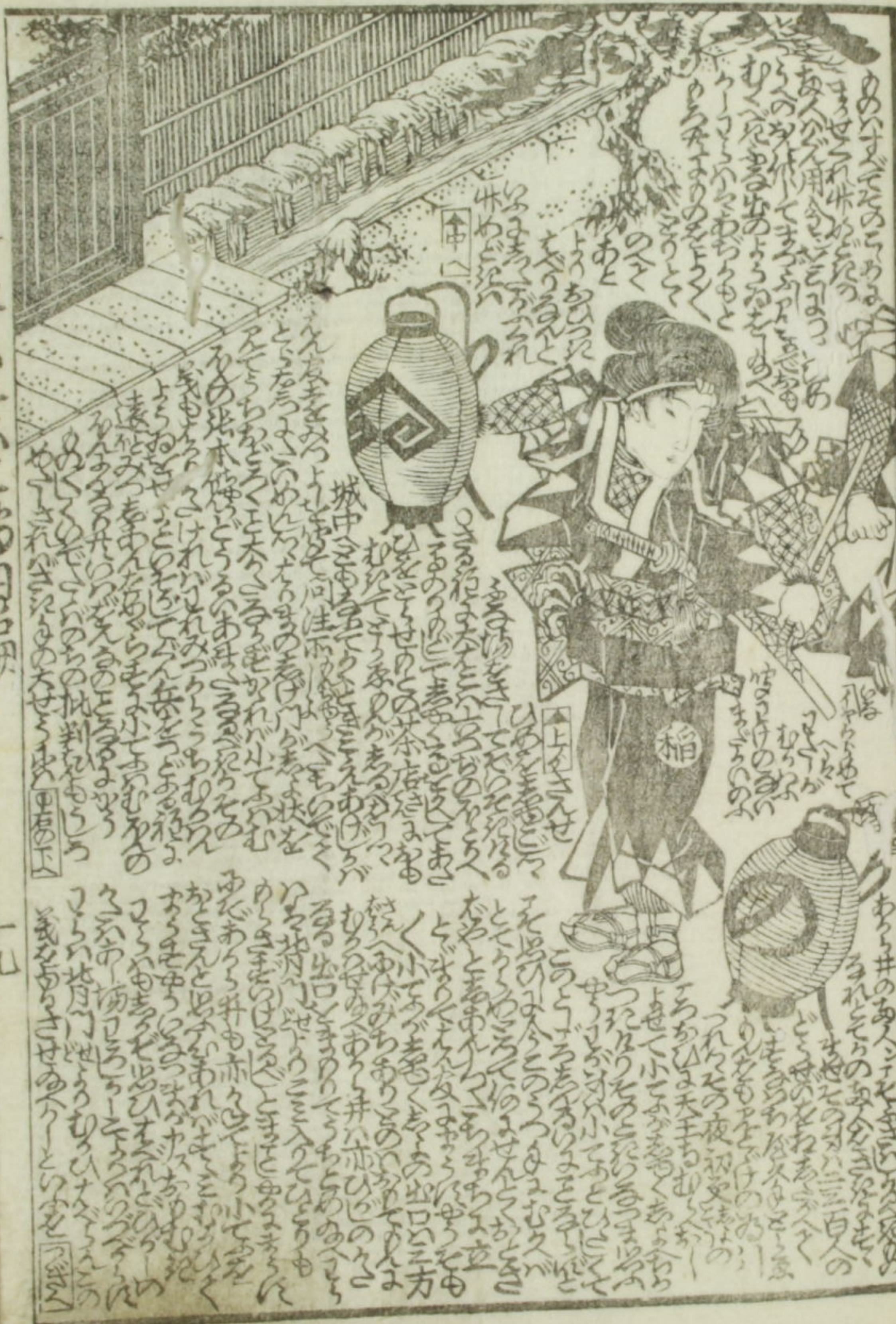
天竺のついでに... 一頁の...

浮世草子の文様や装束の描写、人物の動作を記述する。例文：箱を手にして、あつちへ向かふ。あつちへ向かふ。あつちへ向かふ。



浮世草子の文様や装束の描写、人物の動作を記述する。例文：あつちへ向かふ。あつちへ向かふ。あつちへ向かふ。





ナチカハシラシヨクニ

上



ナチカハシラシヨクニ



ナニカニ...

...

家傳秘湯... 精製奇形丸... 能胆黒九子... 弘野元留町中坂下四方を店向に氏



馬琴今作

筆 金川

御免江戸曆開板所 每年十月下旬頃より賣初め

載陽帖 全一冊 南山禪師書 四季和文章

新撰日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鋏形 紹真筆

新撰女古状揃園生竹 大本 面品 出来 高井蘭山編撰

三國一夜談 全五冊 画入讀本 曲亭馬琴作

即考百籤 全二冊 吉山やきの齊齋ありとに園帝の神美ありて我朋推言の

隨筆 玄同放言 初編 二編 共二巻 吉山やきの齊齋ありとに園帝の神美ありて我朋推言の

右才三編三冊 八巻 初編の初めは吉山やきの齊齋ありとに園帝の神美ありて我朋推言の

初編 編みのやまゝの初めは吉山やきの齊齋ありとに園帝の神美ありて我朋推言の



還魂紙料

古画入二册出来 柳亭種彦隨筆  
放下所居賣の顔倣乃向解常言の秘をさるる後名冊を以て考成  
附く其雅客の口をさるる書より神と成るの眼八重の画

戲童遊言画手本

一名鳥羽繪早まのひ果  
廣光血の懐中早割大全 小本ありこれ等毎出とわの使利をひねりてあまると  
塵劫記 懐中早割大全 一冊 上遠すももの初まふはやくそのるるまはやく

新形漆彩目

植花手引系 前編出来はまのの付するのやとをまの  
芝居似顔早稽古 後編 全二冊五渡亭國貞画  
あ編よりれらるるをまの  
役者似顔早稽古 後編 全二冊五渡亭國貞画  
あ編よりれらるるをまの

役者評判記

藝品定 三箇津 藝品定 役者評判記 全三冊  
相模の文後位階のまのくお改めし買物まの江方ゆを  
當亥月二日か  
一覽 懷寶 北化乃 都路全  
あ編よりれらるるをまの

傾城水許傳

曲亭馬琴作 五編八門  
天竺の方便忘語 五柳亭徳升作  
唐の富言諷刺 三國松殺書 十冊  
日本の神變不慮儀 哥川國貞安馬

喜怨哀樂堪忍囊

式亭三馬醉虎之助作 哥川國貞安馬  
屋根船の提灯 市川三升作  
白魚船の舟大 哥川國貞馬

忠臣藏 伊波野守節用

外傳 哥川國貞馬  
柳亭種彦作  
美艷似香單銅 世あむののひらわのやの  
隅田川兩岸一覽 袋入画本 全三冊  
同北齊華 全三冊  
同蕙齊華 全三冊  
同清長華 全三冊  
江戶名所東鑑 同蕙齊華 全三冊  
江戶名物見立 同清長華 全三冊  
右を色格とあふして考成すこと  
市を物中らるる法本あり

懐寶 北化乃 都路全  
あ編よりれらるるをまの  
一覽 懷寶 北化乃 都路全  
あ編よりれらるるをまの

道外武者太平樂 一三冊 英三冊 再作  
右喜世諺草 同三冊 再作  
繼子立波の濡衣 同三冊 再作  
金ヶ敵夢之世話 同三冊 再作  
美艷似香單銅 世あむののひらわのやの  
隅田川兩岸一覽 袋入画本 全三冊  
同北齊華 全三冊  
同蕙齊華 全三冊  
同清長華 全三冊  
江戶名所東鑑 同蕙齊華 全三冊  
江戶名物見立 同清長華 全三冊  
右を色格とあふして考成すこと  
市を物中らるる法本あり



傾城水滸傳第四編

馬琴著

國安

画



文政十二年

戊子孟陽

發兌

通油町

鶴屋

喜右衛門板

大正十一年四月

曲亭馬琴著  
 傾城水滸  
 傳第四編  
 歌川國安画  
 下帙卷之上

傾城水滸傳年々中評判宜浦板元製本敏昌仕具加至極大書  
 有~~...~~之他者曲亭公翁相頼當年より四編五編引續出版休翁  
 別~~...~~骨~~...~~妙~~...~~此~~...~~不~~...~~処~~...~~是~~...~~之~~...~~並~~...~~合~~...~~卷~~...~~仕~~...~~分~~...~~表~~...~~紙~~...~~紙~~...~~損~~...~~下~~...~~易~~...~~く  
 退々中未~~...~~活~~...~~不~~...~~持~~...~~と~~...~~遊~~...~~い~~...~~少~~...~~ゆ~~...~~意~~...~~極~~...~~方~~...~~宜~~...~~不~~...~~宜~~...~~と~~...~~由~~...~~及~~...~~紙~~...~~公~~...~~付~~...~~當~~...~~年~~...~~分  
 上~~...~~中~~...~~仕~~...~~表~~...~~紙~~...~~仕~~...~~未~~...~~格~~...~~別~~...~~念~~...~~入~~...~~中~~...~~後~~...~~之~~...~~後~~...~~を~~...~~並~~...~~合~~...~~卷~~...~~百~~...~~拾~~...~~中~~...~~直~~...~~に~~...~~書~~...~~買~~...~~上~~...~~に  
 此~~...~~は~~...~~四~~...~~編~~...~~五~~...~~編~~...~~之~~...~~中~~...~~毎~~...~~編~~...~~上~~...~~中~~...~~の~~...~~三~~...~~仕~~...~~後~~...~~之~~...~~中~~...~~の~~...~~並~~...~~合~~...~~卷~~...~~仕~~...~~分~~...~~表~~...~~紙~~...~~紙~~...~~損~~...~~下~~...~~易~~...~~く  
 向~~...~~多~~...~~く~~...~~仕~~...~~分~~...~~表~~...~~紙~~...~~紙~~...~~損~~...~~下~~...~~易~~...~~く

4

曲亭馬琴著

文政戊子孟春嗣梓刊行

義ぎの仗よりと毒どくを除くのぞく虎とらの尾をの櫻さくら戸とが忠ちゅう義ぎ堂どうの坐ま席せき讓り

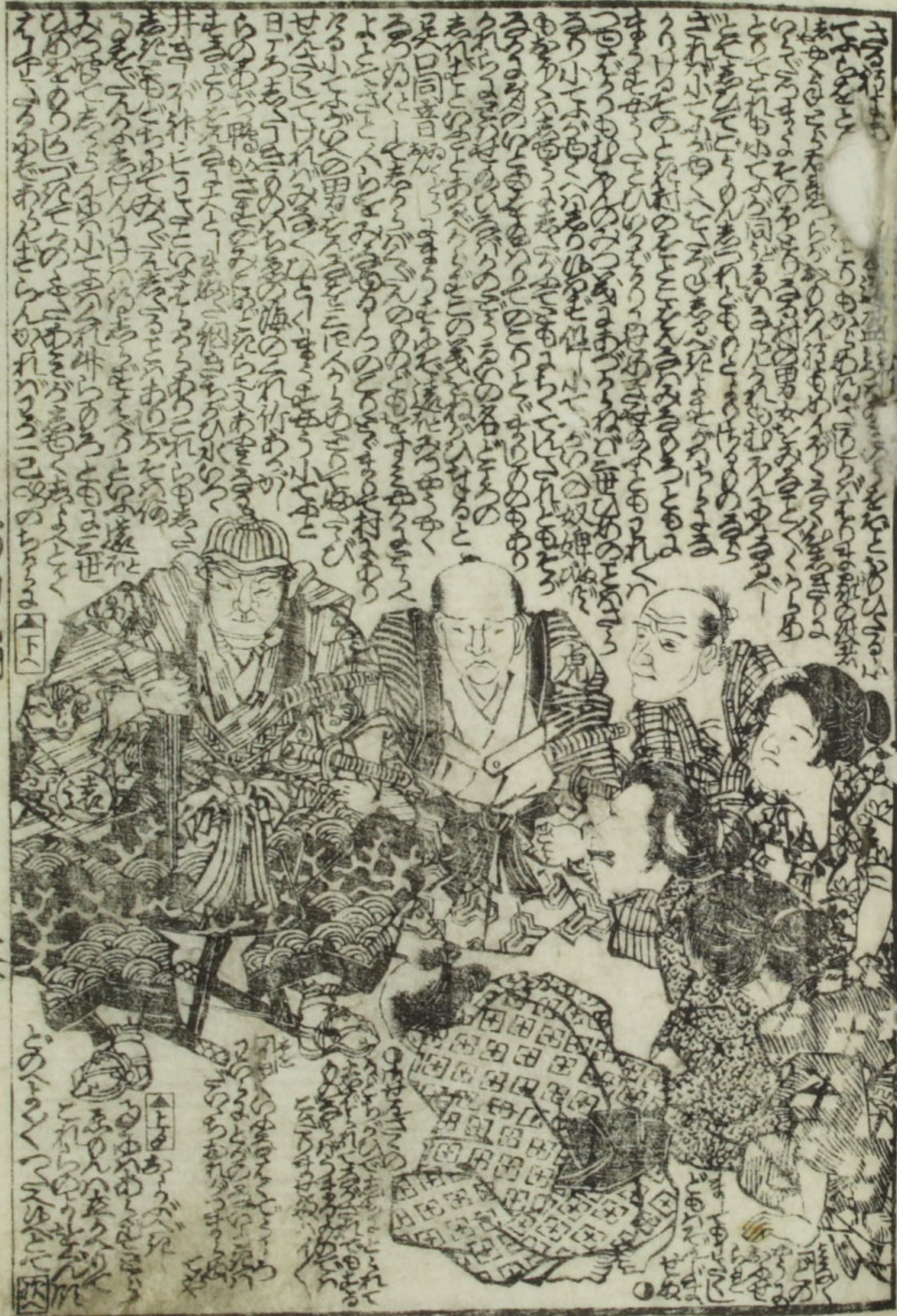
けい せいの すい こ ぜん せい へん

# 傾城水滸傳第四編終

此石このいしの依より敵てきと謀まわるち智慧あ海うみの具ぐ竹たけが琵琶びわの湖うみ軍ぐんの配はい

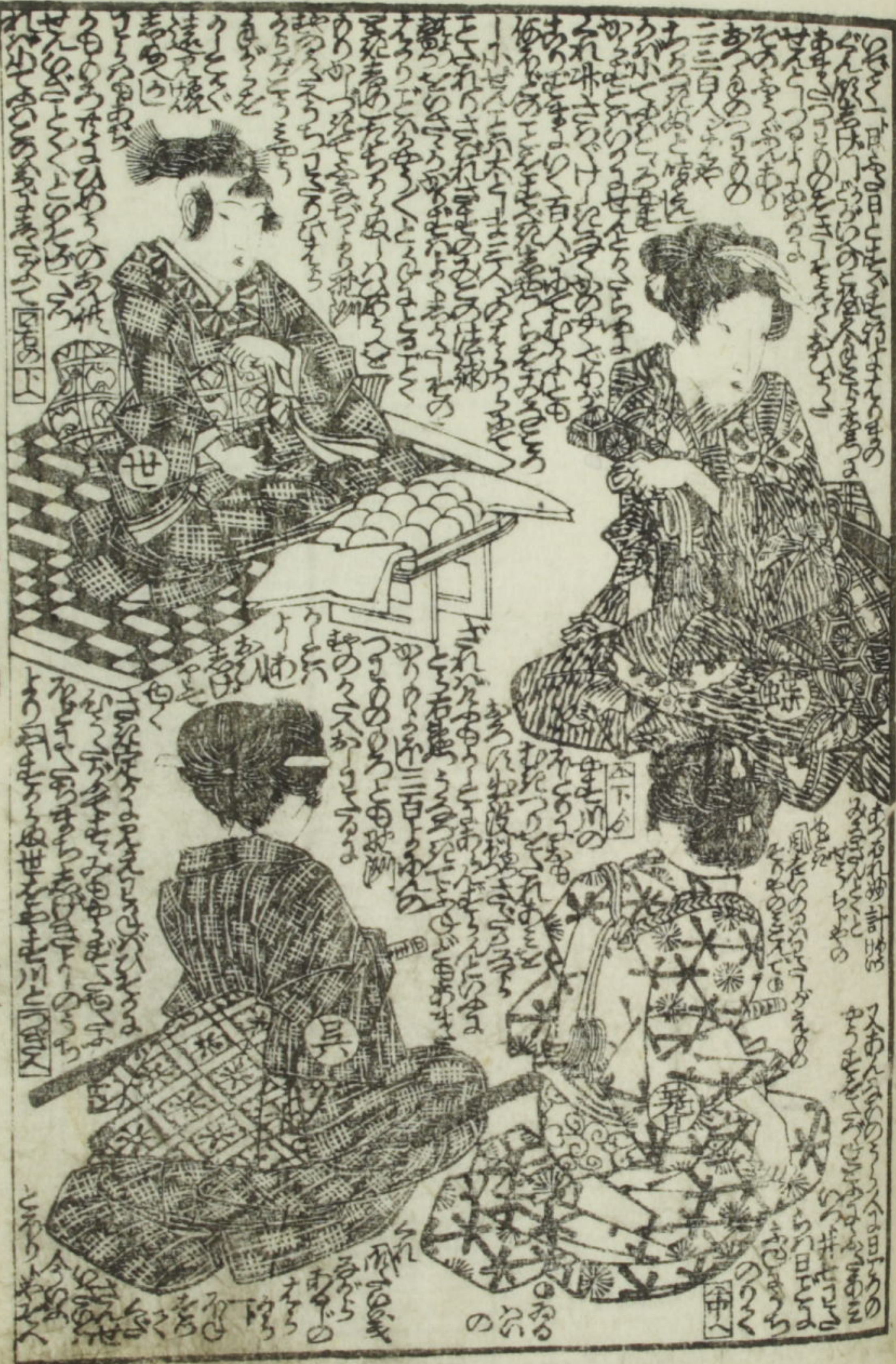
歌川國安画

活書林兼地本回屋仙鶴堂



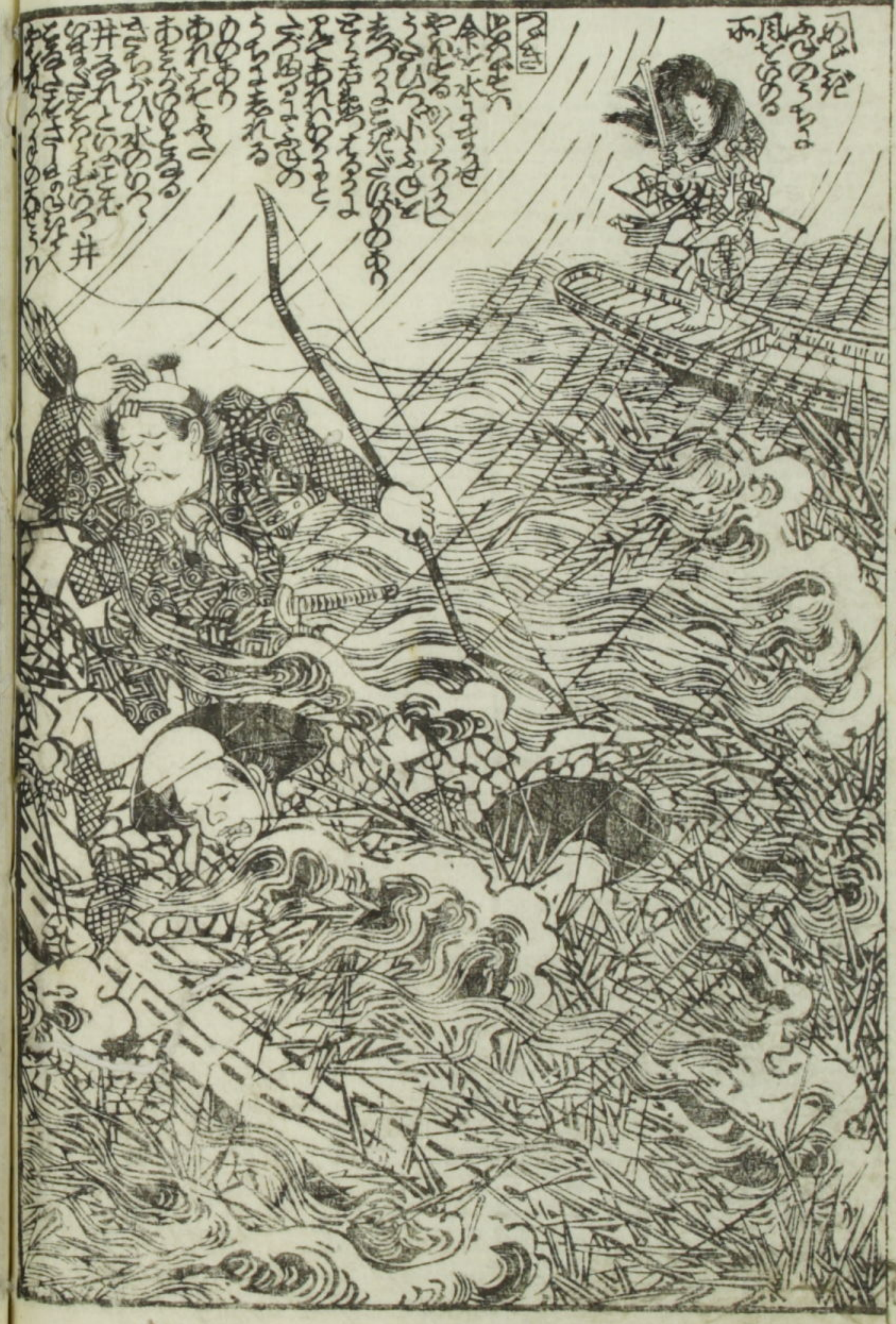
傾城水滸傳第四編終

七



あはた  
あつち  
あつち  
あつち

水は水  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち



あつち  
あつち  
あつち  
あつち

九二

あつち  
あつち  
あつち  
あつち



あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち  
あつち

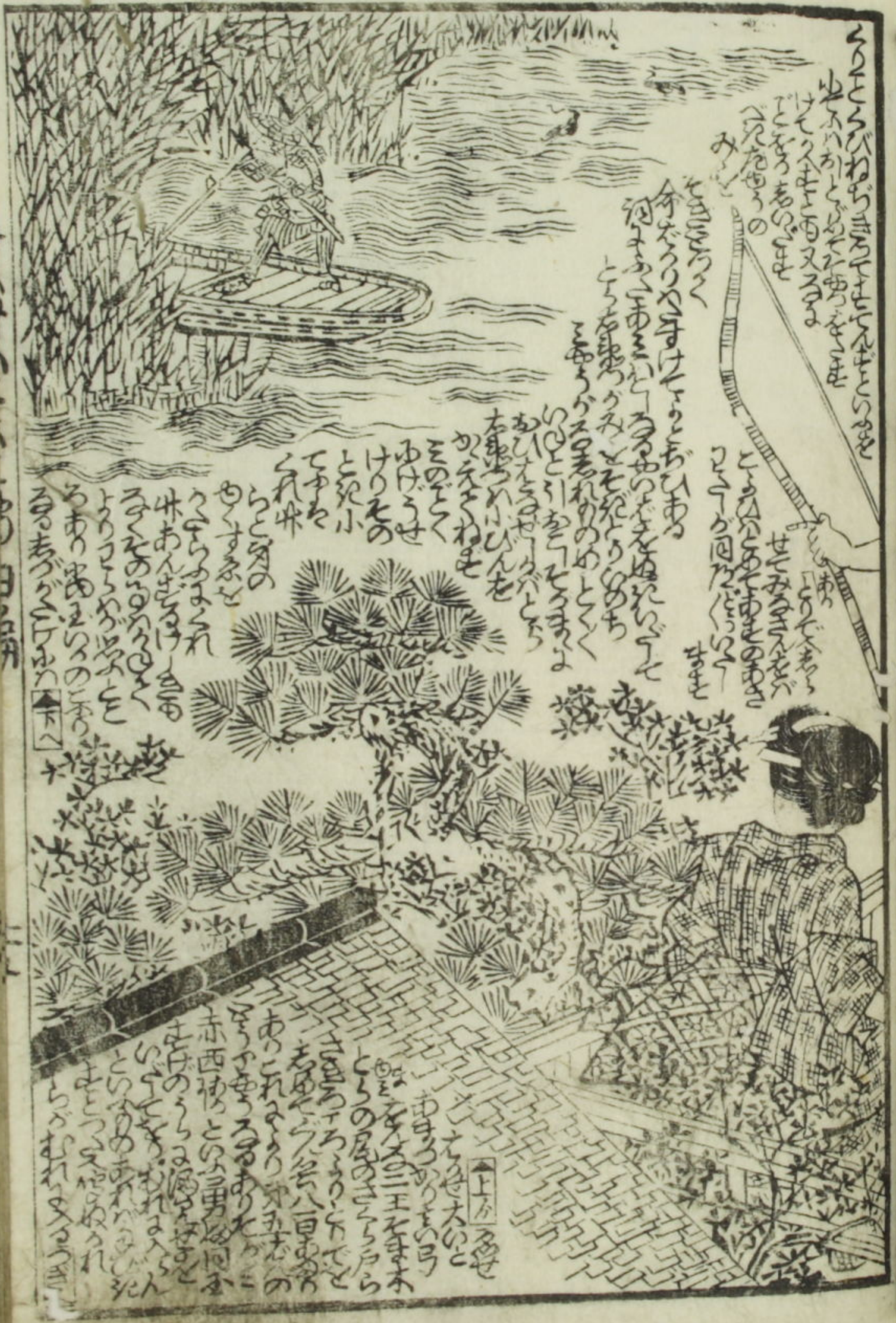
あつち  
あつち  
あつち  
あつち



いせのついでに作四娘

十三





いせの世の俗四編

九四



いせのむらさき編





七世の御代

七

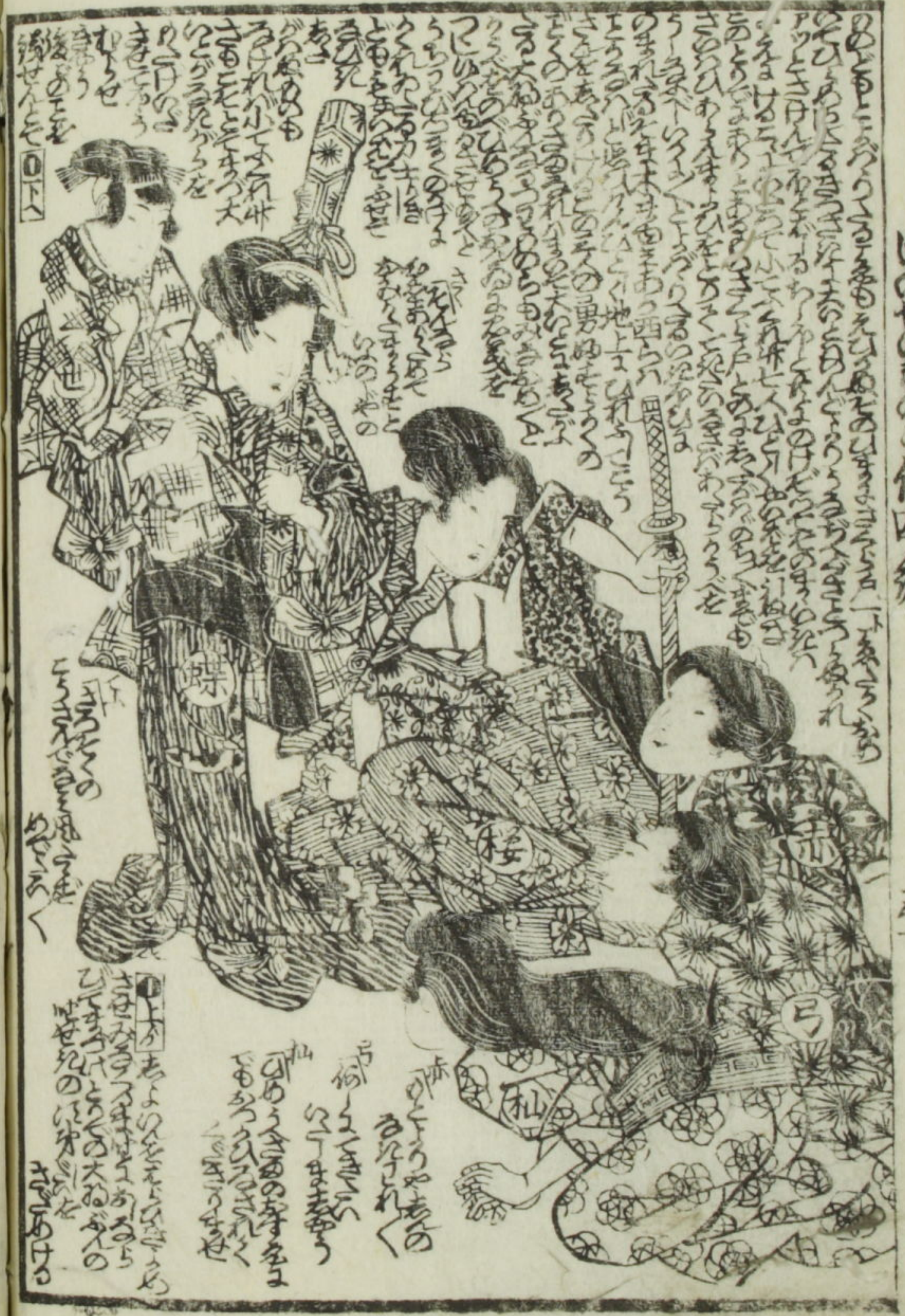


Handwritten text on the right margin of the right page, continuing the narrative or providing commentary on the scene.



Handwritten text on the right edge of the right page.

Handwritten text on the right edge of the right page.



Handwritten text in the right margin, likely a title or chapter heading, written vertically in Japanese.

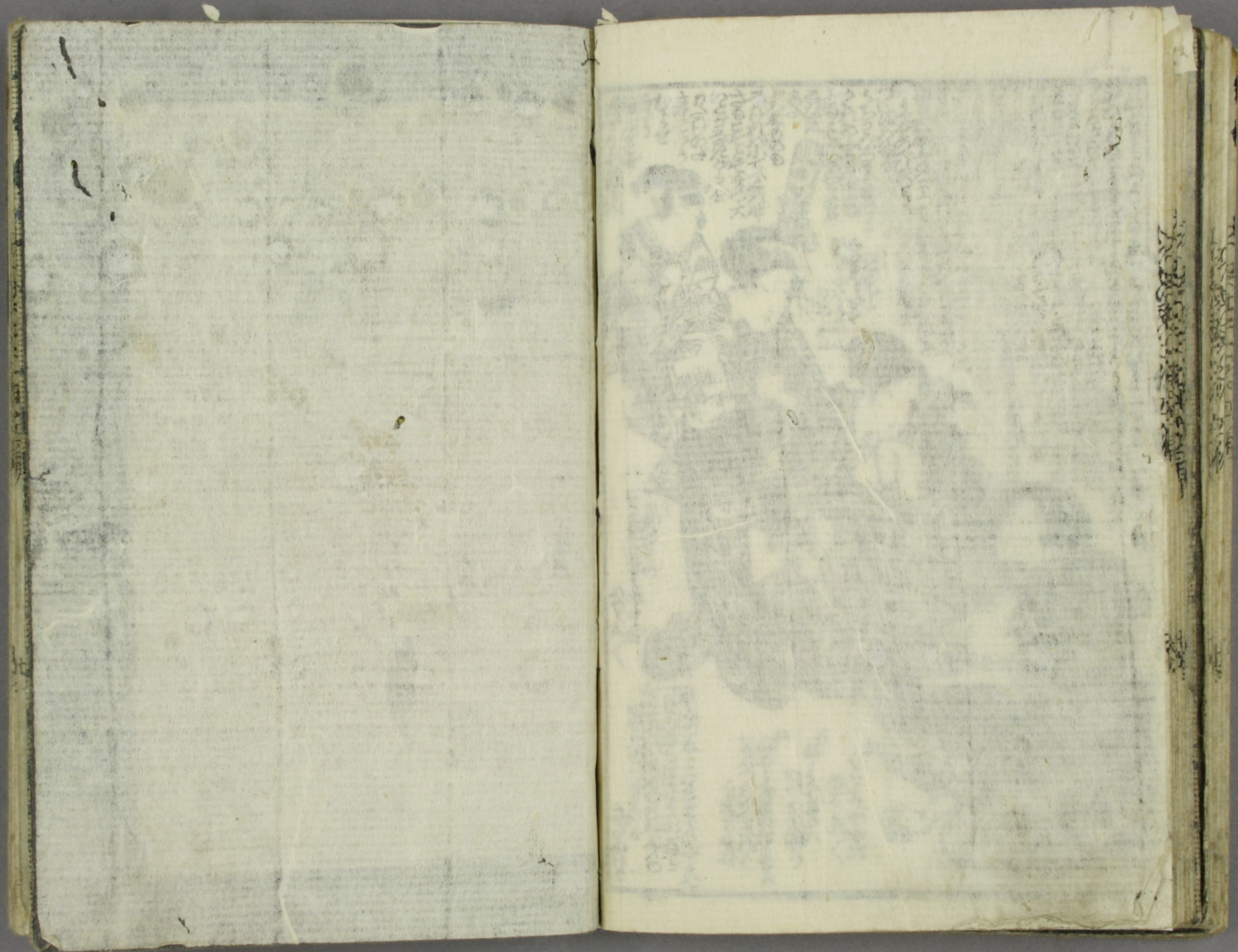
Small handwritten text or a mark located at the bottom right of the page.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the top of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the left side of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text on the right side of the illustration.

Vertical columns of handwritten Japanese text at the bottom of the illustration.





曲亭馬琴著

傾城水滸  
傳第四編

歌川國安画  
下帙卷之下



傾水傳之四  
城澁第編四

作者の翻譯小説の

春雨の大葉子が  
江鎮泊へくりり  
一筆あゆませ心の誠ハ三つみの金銀花

當年積玉面壇玉面高翻譯

らんやせん

つるやせんゆん板

画工の傳神冊子の新作

底と真く怨と醸や 弾語の義太吉が  
色あけけり敵と易らとの通霄の引階子  
此羅雅とけ 送恨の初ハ一封の密文売

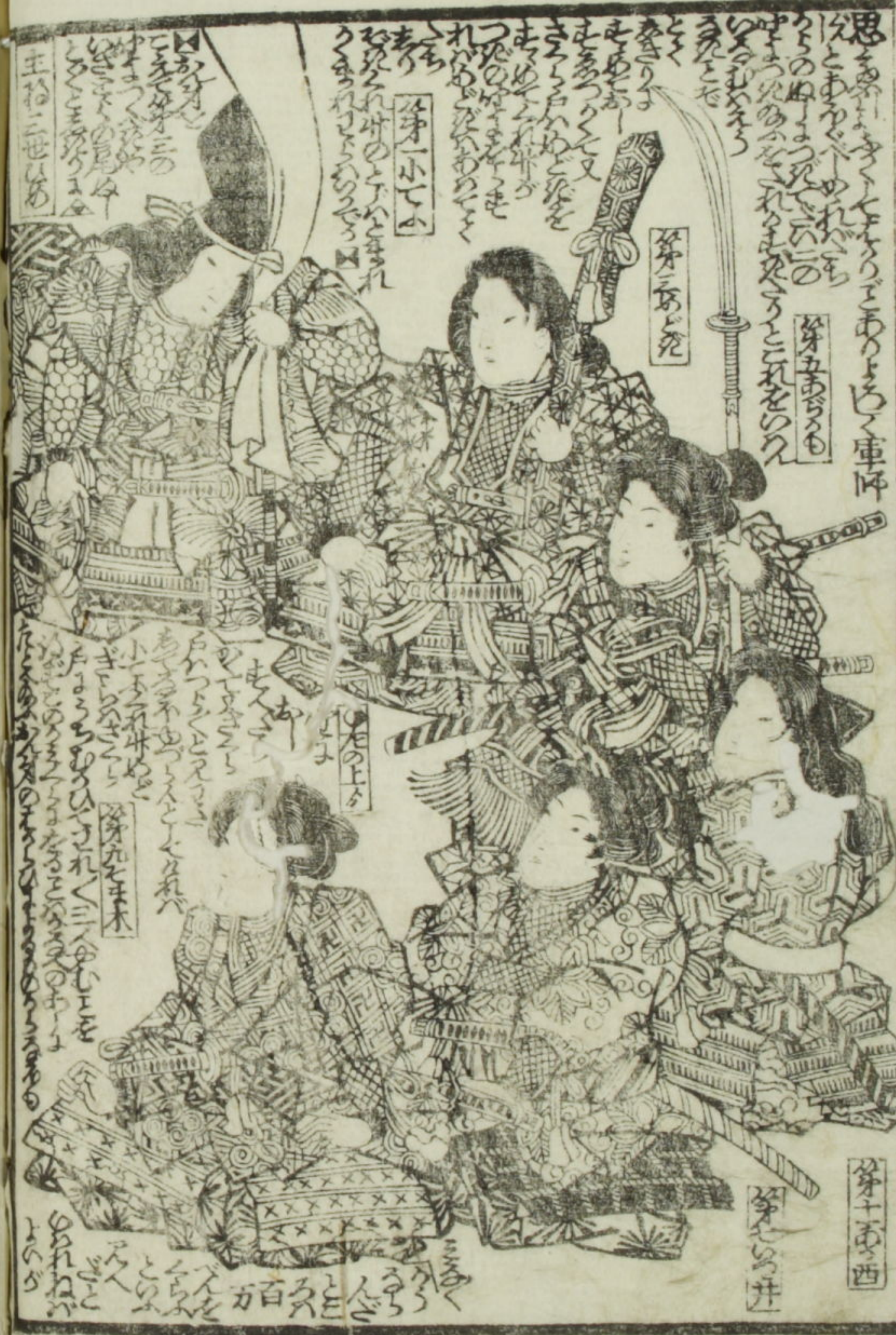
鎮獄山寒湖水眺望圖



この山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ

此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ  
此の山は鎮獄山と云ふ  
此の湖は寒湖と云ふ  
此の眺望は眺望と云ふ

思ふに... 軍師... 第六の... 第七の...



第六の...

第七の...

第八の...

第九の... 第十の... 第十一の...



第十二の... 第十三の... 第十四の... 第十五の... 第十六の... 第十七の... 第十八の... 第十九の... 第二十の...





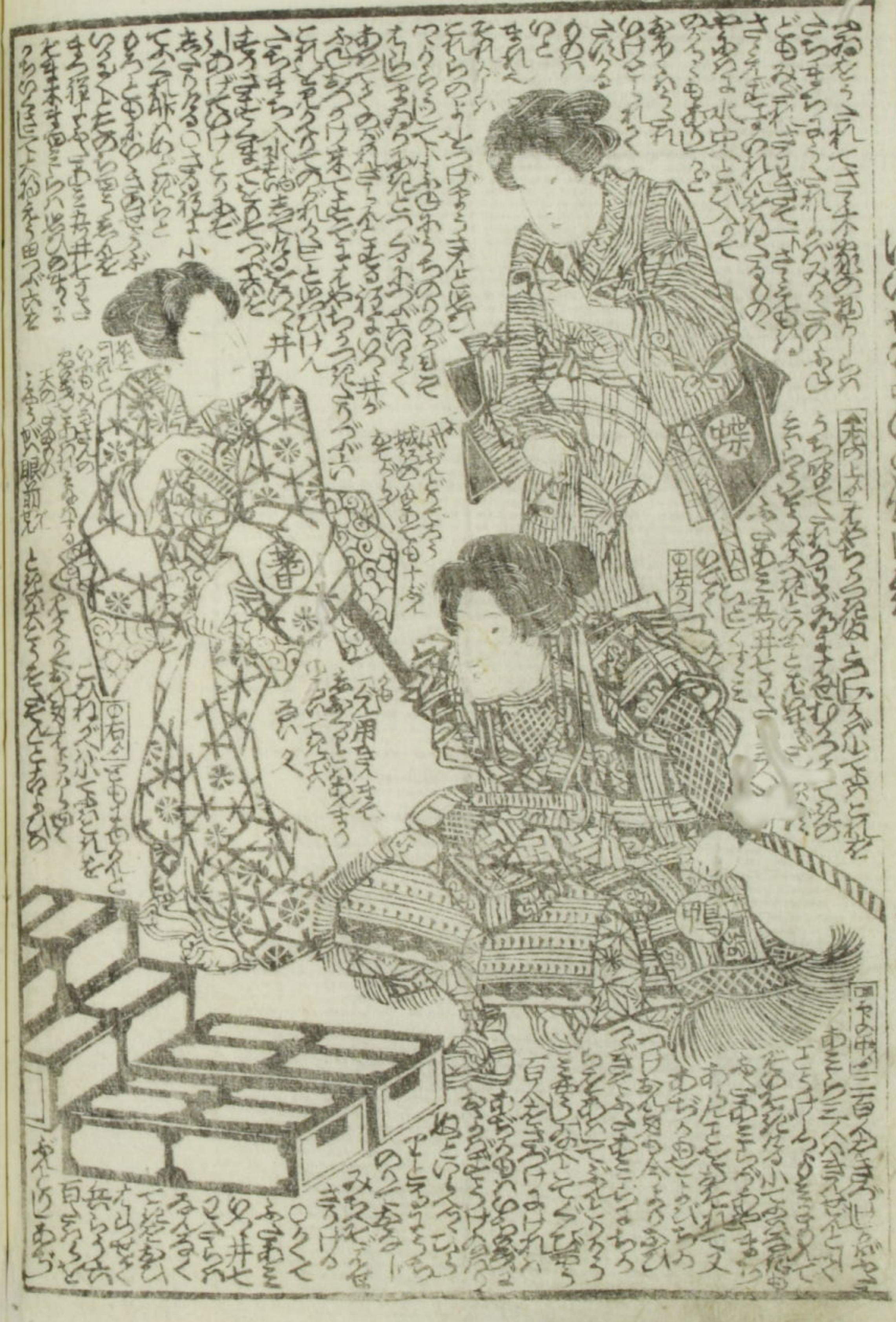
十  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

十  
四



十  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十

十  
三





絶了念頭更做事様

大坂の御四編

九





Vertical columns of handwritten Japanese text on the left page, likely a chapter introduction or commentary.



Vertical columns of handwritten Japanese text on the right page, surrounding the illustration.





大正四年四月

廿七



大正四年四月

廿七





家傳神女湯... 弘河元及...

馬琴作 國安画... 淨書谷金川

御免江戸曆開板所... 載陽帖全一册

日本名所之繪... 撰新

女古狀揃園生竹... 撰新

三國一夜談全五册画八讀本曲亭馬琴作

即考百籤全三册... 撰新

女同放言初編二編共... 撰新

右才三編三册... 撰新

Vertical text on the right edge of the page.

還塊紙料 古画八二冊出来 柳亭種彦隨筆

敬下師所傳の御遺稿乃自解常言の秘意を記し後名冊とて考次

鐵筆遊言画手本 一名鳥羽繪早さるひ出来

廣見画懷中早割大全 小本のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

新形添彩目 植花手引系 前編出来は後編のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

芝居似顔早椿古 後編 全一冊五渡亭園貞画 画のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

役者似顔早椿古 後編 全一冊五渡亭園貞画 画のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

懷寶北花乃都路全 徳大士の役敷入りと兼 三輪徳太郎の

八文舎自笑評 拙役者畫云浮の云云は後編のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

傾城水許傳 曲亭馬琴作 五編八門

三國依殺書 式亭三馬悍虎之助作 哥川國安画

喜怨哀樂堪忍囊六冊 哥川國安画

屋根船の提灯 突佃天綱嶋六冊 哥川國貞画

忠臣藏 伊豆長門守節用十冊 哥川國貞画

道外武者太平榮 一三九冊 英三作

有喜世諺草 同三冊 同三作

継子立波の霧衣 同三冊 戀川春町作

金ヶ歌夢之世話 同三冊 同三作

美艷仙家香翠銅 世のりたれ筆去とちの使れをひてあまを

隅田川兩岸一覽 袋入画本 全三冊

江戸名所東鑑 同前 同前 全三冊

江戸名所物見丘 同前 同前 全三冊

右之巻物見丘 同前 同前 全三冊



通油問 鶴屋喜右衛門版

